



Press Release

2023年6月1日

報道関係者各位

会 社 名 第 一 三 共 株 式 会 社
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 奥 澤 宏 幸
(コード番号 4568 東証プライム市場)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎
TEL 03-6225-1126

「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄)2023」の選定 および当社DXの取り組みについて

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、経済産業省、東京証券取引所および独立行政法人情報処理推進機構が選定する「デジタルトランスフォーメーション銘柄(DX銘柄^{*1})2023」に選定されましたので、当社DXの主な取り組みとあわせてお知らせいたします。

この度の選定は、デジタルガバナンスコード2.0^{*2}の取り組み項目と企業価値貢献、DX実現能力の観点から、当社DXの取り組みが総合的に評価されたものです。

DX銘柄選定にあたって評価された当社DXの主な取り組みを以下のとおり紹介します。

1. 一人ひとりに寄り添った最適なサービスを提供する社会の実現に向けた「Healthcare as a Service(HaaS)」

HaaSの実現に向けて、当社だけではカバーできない領域について、多業種連携により健康促進～予防～治療～予後ケアにわたるトータルケアを提供するエコシステムの構築に取り組んでいます。またSaMD(疾病の診断・治療を目的とした医療機器プログラム)領域においてもノウハウを持つ他企業と提携し、新規治療アプリ開発も進めています。

2. データ駆動型創薬と育薬

継続的に新薬を創出するデータ駆動型創薬に取り組んでいます。従来の仮説ベース・アプローチとデータ駆動型・アプローチを掛け合わせることで良質な新薬候補化合物をスピーディーに創出するとともに、新薬候補化合物のスクリーニングにAIを用いることで創薬生産性を革新的に向上させる等、従来は実現不可能であった新たな創薬の在り方を追求しています。

また、自社の臨床試験データに加え実臨床で得られる医療データを活用することで、より効率的で効果的な医薬品開発・使用方法を確立することや費用対効果評価・製造販売後調査等といった育薬に必要なエビデンスを早期に提供する取り組みを行っています。

3. データやデジタル技術を活用した安全監視活動

オンコロジー製品の提供開始に伴い、安全性情報をタイムリーに管理・モニタリングすることがますます重要になりました。当社は、統合データ基盤を活用し、膨大な安全性情報の統合・可視化・分析を行い、医薬品の適正使用の推進および患者さんの安全性リスクの最小化に取り組んでいます。

当社は第5期中期経営計画の戦略を支える基盤の一つとして「DX推進によるデータ駆動型経営の実現と先進デジタル技術による全社の変革」を掲げ、DXを積極的に推進しております。

以上

当社 DX の取り組み一覧はこちら

[DX - データと先進デジタル技術の活用 - 第一三共について \(daiichisankyo.co.jp\)](https://daiichisankyo.co.jp)

*1 DX 銘柄とは、東京証券取引所に上場している企業の中から、企業価値の向上につながる DX を推進するための仕組みを社内に構築し、優れたデジタル活用の実績が表れている企業を選定することで、目標となる企業モデルを広く波及させ、経営者の意識改革を促すとともに、幅広いステークホルダーから評価を受けることで、DX の更なる促進を図るものです。

*2 デジタルガバナンスコード 2.0 とは、経済産業省がまとめた「経営者に求められる企業価値向上に向け実践すべき事柄」で、企業の DX を促すためにビジョン・ビジネスモデル、戦略（組織づくり・人材・企業文化、IT システム・デジタル技術活用環境の整備）、成果と重要な成果指標、ガバナンスシステムの4つの柱で構成されています。

